

横浜市小学校社会科研究会

4 学年部会

研修会記録

第 4 号

令和2年 12月 2日

横浜市小学校教育研究会

会長 相澤 昭宏

横浜市小学校社会科研究会

会長 梅田 比奈子

同 学年部長 廣瀬 貴樹

【提案日時】

11月 4日（水）

提案 鷹野 誠 先生（平沼小）

【会 場】

横浜市立平沼小学校

司会 小松 広紀 先生（不動丸小）

記録 金井 伸一 先生（西富岡小）

<ミ二提案>

推進副部長 横浜市立鉄小学校 池田 翼 先生

【視点②本気の学習問題について】

- ① 本気の学習問題の成立過程
- ② 本時目標の具体化
- ③ 本時目標を達成するための手だて
- ④ 子どものみとり

【本気の学習問題で大切にしたいこと】

- 子どもたちと一緒に考えたいもの、思考のズレを意識しておく。
- 学習指導要領をもとに、本時でどのような社会的事象の意味等を考えさせるのかを理解する。
- クラスみんなが本時目標に到達できたかどうか。本時目標の分析、具体化を。
- ふり回りや子どもの発言など毎時間の子どものみとりを大切にする。

<実践提案>

横浜市立平沼小学校 鷹野 誠 先生

「わたしたちの神奈川県 ～自然環境を生かした三浦市のまちづくり～」

【自評】

- 神奈川県の特徴ある地域として三浦市を取り上げた。単元構造が二段構造になっているが、産業の学習ではないため、単元の前半は農家のIさんを取り上げ、後半にUマルシェを中心にした。三浦市の特徴あるまちづくりをみていくためには、自然環境を活用しているまちとして学習を進めていった。
- 成果としては、単元の導入時に横浜市の地図と三浦市の地図を比べ、その土地利用の様子に着目させることで、子どもたちの問題意識を生み出すことができ、単元を見通す学習問題を成立させることができた。
- 課題としては、農家の方を切り口に三浦市の様子をみていきたかったが、産業学習に近いものになってしまい、自然環境を保護している事例としては適切ではなかったように思う。また、本気の学習問題では子どもたちがUマルシェについてじっくり考えることができなかつたように思う。

【研究協議】

- 子どもたちは、三浦市のイメージをどの程度もっていたのか。
→12月に体験学習を予定している。単元の初めのオリエンテーションでも写真などで見ているが、イメージが漠然としていたところでスタートした。
- 農家のIさんとの出会わせ方は。
→総合学習で、Iさんに苗をいただき、学校の畑で育てている。年間の計画としてIさんにお世話になっている。この単元が始まる前から関わりがあった。
- 本気の学習問題の時間は、Uマルシェが突然出てきた感が否めない。もっと丁寧に出合わせ、じっくりとみていく必要があったように思う。
- 本気の学習問題を生み出すときに、つぶやきから広げているが、一人のつぶやきがどれだけ全体に共有できたのか。
→Uマルシェもじっくりとみていけばよかった。主観になるが、一人のつぶやきからの全体の反応はよかったように思う。その後、子ども同士がつぶやいた内容について話し合っていれば、本気の学習問題の時間が、より深まったように思う。
- 限られた時間の中で、子どもたちの既習の積み重ねを大切にしていくことから本気の学習問題が生まれる。今回は、少し後半があっさりしてしまったように思う。今回の教材が学習内容に合っていたのか考えていく必要があると思う。

【指導講評】 横浜市立荏田小学校 校長 伊藤 智樹 先生

- 子どもたちを見とり、資料をよく読みこんでいる。
- 高速道路の休憩するところに観光パンフレットがよく置いてある。そのようなところから、その地域の特色をみるヒントがあったりする。観光パンフレットを自分がつくる場合は、どのようなタイトルをつけるか、様々なところにヒントが転がっている。教材をよく吟味していきたい。
- 今回の単元は、産業の学習ではない。三浦市はマグロや大根などは確かに有名だが、それだけを扱っても産業の学習と変わらない。今回の単元全体の中で、子どもの意識のどこにズレがあったのか、ズレを実感できたのか。そのことを考えていかなければいけない。教材を考えるときに「ふるさと納税」で何を出しているのかということも参考になるかもしれない。三浦市はそのことから、マグロが有名だといえる。京浜急行とタイアップしてマグロ三崎切符なども販売している。そのような事例もヒントになる。また、魚のUマルシェをじっくりみることや、どこをポイントにしていくか、どのようなところを絞っていけばよいのか考えていきたい。
- 自然環境の保護・活用している地域としても神奈川の材としても、どのようなところがあるのか、どこがより学習指導要領の内容として適切なのか教材研究を進めて、考えていく必要がある。